

国際アドバイザリーボード（概要）

日 時：2024年10月7日（月）15:00～16:20

場 所：京都国際会館

出席者：英国王立協会（RS） マーク・ウォルポート副会長
フランス科学アカデミー（FA） パトリック・フランドリン前会長
日本学術会議（SCJ） 光石会長、日比谷副会長、磯副会長

要 旨： SCJから第26期アクションプランの進捗状況を説明。特にタイムリーかつスピーディーな提言に向けプロセスの改革を行っていること、産業界との対話を進めていることなどを紹介。

アクションプランに関する質疑応答のほか、科学的助言（提言等）を行う際の課題の選定方法、提言等の作成に関わる人員数と発出までの期間、提言等作成中のステークホルダーとの対話状況、提言等発出の方法、提言等発出後のフォローアップ方法などに関し、意見交換。

ステークホルダーとの対話に関しては、RS、FAは共に国会議員や政策立案者との対話に努力していることに言及。RSは、パブリックエンゲージメントが重要と強調。

他に、博士号取得者の減少を含め日本の科学技術の発展に影響を与え得る国内課題のほか、紅麴の事案を例に国民の科学への信頼についても意見交換。

